

事業報告書

団体名： 重利の山を守る会

1. メニュー名	(1) スタート事業 該当するメニューを○で囲んでください (2) ステップアップ事業 (3) 市民連携事業
2. 事業名	森林の保全 * 緊急災害時の対応と地域の「絆」づくり
3. 実施場所	亀岡市曾我部町重利山ノ下近辺の山林
4. 実施期間	平成 29年4月1日 ~ 平成30年3月31日
5. 目的と課題	支援金申請書に書いた、申請事業の目的と設定した地域の課題を改めて記入してください。

本年度は「重利の山を守る会」の事業が地域の皆様に知って頂き多くの方が山の会の活動に参加して頂けるよう取り組んで来ました。

地域住民と交流を進める為自治会共に【そがべっ子未来づくりサポーター事業】又緊急災害時に備え防災訓練等色々な催しに取り組み少しずつ地域の人にも知られる様になり、積極的に参加される人が増えてきました。夏みの「親と子の木工教室」には多くの家族ずれで参加がありました。着実に成果は出てきています。最近では親子で参加され又そのまま会員として一緒に会の活動をされる人達が増えてきました。

山の入り口に「三春滝桜」を植えつつジの苗木を植え、ピザ小屋前の広場をお花で一杯にして多くの人に山の関心を持ってもらえる様に今後も活動を続けていきます。

6. 実施内容 実施した内容を具体的に記入してください。(実施スケジュール、会場、内容、講師名、参加者数、参加者の声、その他情報など)

実施年月日			実施内容	参加人員
29年	4月	9日	午前 ピザ小屋前の整備 スギの間伐	7名
			午後 地域の人と会員でピザを焼いて交流	15名
	5月	5日	ピザ釜の公開ピザパーティー (会員以外多数参加)	35名
		7日	ピザ小屋前の整備 * 花壇づくり	10名
	6月	4日	花壇の整備 * 中腹のナラ枯れの木の伐採	12名
		28日	山の会主催【親と子の木工教室】のチラシ500部作製	
	7月	9日	中腹までの伐採 * 木工教室の材料の準備	11名
		23日	【親と子の木工教室】山の会の会員が講師になり山の木でおもちゃ、オセロ等を制作 講師 吉川修二 (木工作家) 高岡清 (現役大工) 来年も続けて欲しいとの要望が多数ありました	小人12名 大人16名
	9月	2日	夜間の防災訓練 (防災カレーライス * 防災ポンチョ作)	小人6名

			り) 講師 隅谷賢二 (元府警) 松室重美 (元消防士) 発電機を使っての照明*スマホの充電確認 カレーライスが美味しく出来おかわりした人がいます	大人12名
		3日	ツリーハウス創りの準備*スギの伐採	10名
		1日	ツリーハウスの道づくり*基礎作り	10名
	10月	14日	【そがべっ子未来づくりサポーター事業】曾我部小学校の児童中心に山の自然教室開催*子供たちに出来たての美味しいピザを提供。学園大学の学生ボランティア参加	小人29名 大人18名
	11月	5日	ツリーハウス創りの準備*基礎まで完成	8名
		19日	【三春滝桜】をピザ釜の前に3本植樹	7名
	12月	3日	ツリーハウスの基礎部分の手すり、上り棒、ハシゴ、クライミングウォール設置	12名
30年	1月	14日	住宅近辺の桜の伐採*薪作り (午後新年会)	10名
	2月	11日	【わが町緑の花づくり】よりツツジ30本植樹	8名
	3月	11日	ツリーハウス用のスギの伐採	11名

7. 成果と課題

事業の実施により、課題解決がどのように図られたのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、事業の効果や成果と課題を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。

山の会主催の【親と子の木工用室】と曾我部自治会の【そがべっ子未来づくりサポーター事業】には多くの子供たちに参加してもらい「重利の山」での、遊び方、自然観察、山からでた木で作る木工教室の作品は、嬉しそうに持って帰る姿がとても印象に残っています。サポーター事業ではそれぞれ自分たちでピザ調理し山では学園大学のボランティアの学生さんと栗、ドングリ拾いをして楽しく遊んでいました。小学校の校長先生は「児童がこんなに生き生きしている姿は初めて見ました」と、お話しされていました。父兄の方は山が整備されてるので、「子供を遊ばせていても安心です」とのコメントを頂きました。今の子供たちは山で遊ぶ機会が少なく環境を整えてやれば私達の子供の頃と同じ様に山を駆け回り、お尻で滑ってきたりして、自分たちで遊びを工夫し時を忘れて遊ぶものだと、感心しました。現在山の中腹にツリーハウスを建築中です。ハウスの登り口はハシゴ、ボルダリングウォール、丸太の上り棒を設置します。ハウスはバードウォッチングの出来る様、観察窓を創る予定です。今後野鳥観察の拠点づくりをし巣箱を(木工教室で制作)えさ台を設置します。

防災週間に合わせて夜間の避難訓練を行いました。発電機で電源を確保し灯りをつけ、スマホの充電の確認が出来ました。防災カレーライス作りと防災ポンチョ作りを、講師に教わりました。カレーライス作りは、事前に準備をして(野菜を、細かく刻む)望み、美味しく調理できました。実際災害が起こった時に野菜等の準備が本当に出来るか疑問です。レトルト食品を備蓄した方が良いのではないかとこの意見が多数出ました。防災ポンチョは、黒のビニール袋を利用すれば、女性の着替え等にも利用でき、冬の寒い時期にはとて

も有効であると思いました。今後は、レトルト食品を、そろえ、水、コメ等備蓄を進め、災害時は、山の会員が、先頭に立ち、住民の安全を守るように、マニュアル作りを、進めたいと思います。

尾 8. 今後の展開 事業の実施成果と課題を受けて、今後の事業展開をどのようにされるのか、申請時の事業計画書と対比させるかたちで、記入してください。

目 標	手 段
事業の参加者を増やす	山の会の活動内容を多くの人に理解してもら様、チラシを曾我部町全域に配布する
山の美化に努め、お花で一杯の山にする	亀岡市のオープンガーデンに参加し、お花づくりに興味のある人を増やし、山を背景にした庭園づくりをする。
地域のコミュニティづくりとして	山の入り口に三春滝桜を植樹しツツジを植え花見の出来る様、ベンチ、テーブル等設置し多くの人に見に来てもらいます。
お年寄りの一人住まいの方のイベントの参加について	一人暮らしの人は、私達の活動を楽しんでおられます。当日山まで手助けしてきてもらいます。

9. 協働の効果 今年度の事業実施にあたって、他団体等と協働（協力）された事例がある場合は、その効果や今後の関わり方について、記入してください。
※市民連携事業に関わらず、他団体との関わりがあった場合は記入してください。

「親と子の木工教室」に園部の【ママサークル CuiCui】の親子に参加してもらいました。参加された時のことを詳しくブログで報告してもらいました。その後園部町のイベントに参加したくさんの親子に山から出た材料で、木工教室を開催しました。子育て世代のお母さん方のグループの手助けが出来たらと思っています。今後山の会主催のイベントは随時案内を送付いたします。

曾我部町自治会との共同事業は、曾我部町の子供たちに「重利の山の会」活動を理解してもらい、里山の自然の豊かさを感じてもらい、重利に住んでいて良かったと思ってもらえる様に努力します。のb

南丹市まちづくりデザインセンターで、山の会のチラシ 500 枚を作ってもらう手助けをしてもらいました。その後、色々アドバイスを頂き、又多くの市民団体の紹介をもらいました。

3月11日の山の会の活動日には、デザインセンター内で行われたチラ1グランプリで1位の表彰状と、賞金を頂きました。

木工教室 2017. 7. 22

重利の山のテラスで開催 ピザ小屋で自分たちで調理してもらいました。

毎年開催してほしいとの要望が、多数ありました。



夜間の防災訓練 2017. 9. 2 発電機で、照明とスマホの充電を確認

防災カレーライス作りは、事前の準備があり、上手く出来、おかわりする人までいました。



備品 発電機

7月27日、購入

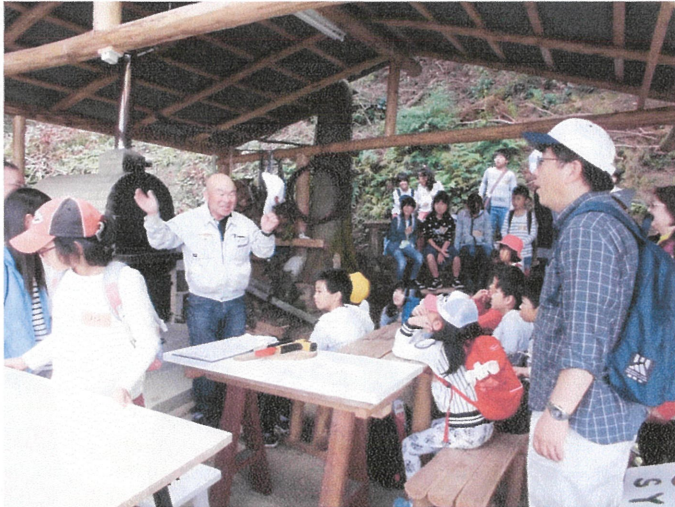


防災カレーライス2重のポリ袋で調理中



【そがべっ子未来づくりサポーター事業】自治会主催で曾我部小学校の児童、父兄多数参加。

1日山で遊び、ピザを自分たちで焼き、楽しく過ごしてもらいました。校長先生は「こんなに生き生きした児童の姿を見たのは初めてです」とおっしゃっていました。



三春滝桜を植樹 2017. 11. 19



ツツジの植樹 (30本) 2018. 2. 18



市長に重利の山を観てもらいました



入り口に看板設置



2018. 3. 11 南丹市まちづくりデザインセンターより、チラシグランプリで、優勝。授賞式



SYK 重利山小屋



親と子の木工教室

里山で“わくわく”ものづくり

2017年 7月 23日 日
9:00～15:00 (小雨決行)
の間、いつでもおこしください。
@重利の山小屋
亀岡市菅我部町重利山ノ下

間伐材や下草刈りでえた木、竹を使い、
・オセロ・キノコのおもちゃ・コースター
・カッティングボード・スプーン・トング
・バターナイフ・竹の器・ベンチ
・テーブルなどを作れます。



当日完成しなくても、
後日指導します。



木工教室 参加費 500円
(保険料込み)
※ベンチ等の大物制作については相談

ピザ釜で、美味しいピザ
パンを焼いて楽しい時間



ピザセット 1,000円
オードブル/ピザ/スープ/1ドリンク

事前申込制：先着 30 組
お電話にてお申し込みください。

私たち山を守る会は、「里山の自然に触れ、山の役目を知って
もらいたい」「地域の絆を深めたい」「非常時での山を守る会の
役目を理解してもらいたい」—そんな思いで、今回の工作教室
を企画しました。ぜひご参加ください。 会員も募集中!

【主催・お申し込み先】 重利の山を守る会 代表 長瀬 清澄 ☎ 090-3677-1229